

五城目高・町の「ランチプロジェクト」

“生徒に無償弁当スタート” 初回は「幕の内」「とんかつ」



五城目町は9月26日、五城目高校(石井浩嗣校長)の生徒55人に昼食の無償提供を始めた。連携協定「五城目ランチプロジェクト」に基づく。町産あきたこまちを使った弁当が用意され、生徒は昼休みに地元の味を楽しんだ。町は今後も月2、3回ほど提供する。

初めて配布された弁当は、「幕の内」「とんかつ」の2種類。事前に希望を聞いて数を用意した。普段は母親が作った弁当を持参する生徒会長の工藤琉輝さん(3年)は「親の負担が減る上、地元の食材を味わうことができ、ありがたい。五城目の名物だまこ鍋も食べてみたい」と話した。

連携協定は19日に結んだ。町は町産のコメや野菜などを使った弁当を提供し、生徒の高校生活を応援する。学校側はメニューに対する意見を集め、ランチプロジェクトの広報活動に協力するなどの内容。食を通じて地域への関心を高めてもらう狙いがある。生徒が献立を考えることも計画している。(高橋秀明)

(令和7年10月1日(火)秋田魁新聞より一部抜粋)